CreateFontToHandleにて定義するフォントハンドル

TITLE タイトル　大きくアンチエイリアスが効いている

CONTENT 内容　小さくアンチエイリアスが効いていない

LEAD　その他の備考

\*Menu\_main

M1「StudioOneと、MIDIキーボードが接続されていて、再生中のところ」

M1={"

DTMについて知ろう

注意：このソフトウェアでは、キーボードとヘッドフォンを使用します。

T->DTMについてのチュートリアルを開始(初めての人)

M->ミュート/ソロを試す

G->リアルタイム録音ゲーム

"}

\*Tutorial\_main

1T1「基本的にはM1と等しいが、アングルを変える」

2T1={"

DTMって何？

PCを使って音楽制作をすることをDTM(DeskTop Music・デスクトップミュージック)と呼びます。アーティストのプロデューサーやサウンドクリエイター等のプロも行っていて、簡単に作曲や編曲ができます。

"}

3T2「StudioOneのホーム画面」

4T2={"

DTM専用ソフトウェア「DAW」

音楽制作をするソフトウェアを一般的に「DAW」といいます。無料のものから、有名なアイドルグループのプロデューサーも使っているような高価なものまで、たくさんあります。この画像は、私が使っているPronouns社の「Studio One」というDAWの画面です。次のページからは、Studio Oneの実際の画面と共に、DAWができること、DTMでできることを説明します。

"}

5T3「インストゥルメント一覧表のブラウズ画面」

6T3={"

色々な楽器を試す

DAW内には「ソフトウェア音源」という、実際のシンセサイザーやピアノ、ギター、ドラムなどの様々な楽器の音をシミュレートするプログラムが組み込まれています。Studio Oneではソフトウェア音源のプログラムを「インストゥルメント」と呼ばれているので、以後そう呼ぶことにします。ここでは、シンセサイザーのインストゥルメントを起動し、<ド>の音を鳴らしてみました。

"}

T3「インストゥルメント一覧表からインストゥルメントを起動して、＜ド＞の音を鳴らす」

7T4「打ち込まれたピアノロール」

8T4={"

演奏してもらう

起動したインストゥルメントに、自動演奏してもらいます。「ピアノロール」と呼ばれるこの表は、縦軸が音の高さで、横軸が時間を示しています。ここでは、5小節目の頭に<レ>の4分音符を配置しました。このように、音符を配置することを「打ち込む」といいます。

"}

T4「ピアノロールの5小節目の頭に4Dを配置して鳴らす」

9T5「ゆうやけこやけのノートを打ち込んだピアノロール」

10T5={"

演奏してもらう(2)

「ゆうやけこやけ」という童謡楽曲のメロディを打ち込み、再生ボタンを押して演奏してもらいました。シンセサイザーの音で「ゆうやけこやけ」が流れました。楽譜を右下に示しておきます。

"}

T5「ゆうやけこやけのノートを打ち込み、再生する」

11T6「ピアノトラックとシンセトラックの複合ピアノロール」

12T6={"

伴奏を付け足す

次にピアノの音で伴奏を付け足してもらおうと思います。追加でピアノのインストゥルメントを起動して、伴奏を打ち込みました。赤い音符がメロディ、黒い音符が伴奏です。

"}

T6「ゆうやけこやけのオケを再生する」

13T7「多数のトラック」

14T7={"

さらに色々な楽器を付け足す

さらに楽器を付け足して豪華にしてみました。でも、あまり綺麗に聞こえません。それぞれの楽器が調和していないからです。音を綺麗に聞こえさせるために加工が必要なのです。

"}

//メロディ->シンセサイザー,コード->アコギ・ピアノ,ベース->フィンガーベース,ウワモノ->ストリングス,パッド->ストリングス,アルペジオ->ハープ,リズム->ドラム,

T7「ゆうやけこやけのオケを再生する」

15T8「イコライザーウィンドウ、ミックスウィンドウ」

16T8={"

ミックス/マスタリング

の音を加工することを「ミックス」または「マスタリング」といいます。それぞれの楽器の音を整えて全体的に綺麗に聞こえるようにします。多彩な楽器が集まって美しいハーモニーとなりました。

"}

T8「ゆうやけこやけのオケを再生する」

17T9「特定のトラックのみミュートまたはソロ」

18T9={"

ミュート/ソロ

たくさんの楽器が鳴っている中、特定の楽器の音だけ消したい、または鳴らしたいと思うこともあると思います。そんな時に便利なのが、ミュート/ソロ機能です。ミュートは特定の楽器の音を消すときに、ソロは特定の楽器の音だけを鳴らすときに使います。

"}

T9「ゆうやけこやけのストリングスをミュート/ソロにする」

19T10「リアルタイム録音中、MIDIキーボードで打っている」

20T10={"

リアルタイム録音

多数の音符をマウスで一つ一つ打ち込むのは少し面倒です。そんなときに役立つのが「リアルタイム録音」。「MIDIキーボード」と呼ばれる鍵盤を使って自分で演奏しながら効率良く打ち込むことができます。ただ、この時に若干のリズムのズレが出てしまうので、「クオンタイズ」という音符の少しのズレを修正する機能が必要です。

"}

T10「リアルタイム録音でBGM1を演奏」

21T11「最後に」

T11={"

以上DTMについての軽い説明でした。

"}

Tcommon={"

戻る<-Backspace　Enter->進む Esc2回->タイトル画面に戻

"}

Tesc={"あと一回押すとタイトル画面に戻ります。"}

Tmovie={"Space->動画を見る"}

\*Mix\_intro

Mi1={"

ここでは、DAWのミュート/ソロ機能を実感してもらうために、皆さんにBGMの再生中に任意の

楽器の音のON/OFFの切り替えをしてもらいます。ミュート/ソロ機能がどのように聞こえ方に影響するか

お確かめください。

BGMを選びEnterを押して再生します。

"}

\*Mix\_play

Mi2={"

指定のキーを押すと各楽器の音のON/OFFが切り替わります。"}

\*Game\_select

G1={"

ここでは、DAWのリアルタイム録音の機能を実感してもらうために、BGMの進行とともに「ドラム」

というパーカッションを打ち込んでもらいます。

少しのズレはクオンタイズに修正してもらえますが、あまりにもズレすぎていると失点となります。リズム感が大事です。

BGMを選びEnterを押して開始します。"}